

令和7年度 学年別教育課程表

B 表

(表 面)

教育局	石狩
-----	----

北海道札幌英藍	高等学校	全日制課程
---------	------	-------

学科	普通科
----	-----

学級数	第1学年	7
	第2学年	7
	第3学年	7

教科	学年		1 年	2 年	3 年
	科目・標準単位数	類型			
国語	現代の国語	2	2		
	言語文化	2	2		
	論理国語	4		2	2
	文学国語	4			0~4
	国語表現	4			
	古典探究	4		2	2
	○国語応用	3			0~3
	○現代文研究	2			0~2
	○古典講読	2		0~2	
	○実用国語	2			0~2
地理歴史	地理総合	2	2		
	地理探究	3		0~4	
	歴史総合	2	2		
	日本史探究	3		0~4	
	世界史探究	3		0~4	
	○発展地理	3			0~3
	○発展日本史	3			0~3
	○発展世界史	3			0~3
公民	公民	2		2	
	倫理	2			0~2
	政治・経済	2			0~3
数学	数学Ⅰ	3	3		
	数学Ⅱ	4		4	
	数学Ⅲ	3			0~3
	数学A	2	2		
	数学B	2		0~2	0~2
	数学C	2			0~2
	○発展数学	2			0~2
	○数学に親しむ	2			0~2
	○数学研究	4			0~4
○数学応用	2			0~2	
理科	科学と人間生活	2			
	物理基礎	2		2	0~3
	物理	4			0~5
	化学基礎	2	2		
	化学	4		2	0~4
	生物基礎	2	2		
	生物	4			0~5
	地学基礎	2		2	
	地学	4			
	○物理基礎応用	2		0~2	
	○化学基礎応用	2		0~2	
	○生物基礎応用	2		0~2	
○基礎化学	2			0~2	
○探究理科	2			0~2	
保健体育	体育	7~8	2	2	3
	保健	2	1	1	
	○トレーニング基礎	2			0~2
	○トレーニング	2			0~2

B 表

(裏面)

北海道札幌英藍

高等学校

全日制課程

学科

普通科

教科	学年		1 年	2 年	3 年
	科目・標準単位数	類型			
芸 術	音 楽 I	2	2		
	音 楽 II	2		0~2	
	音 楽 III	2			
	美 術 I	2	2		
	美 術 II	2		0~2	
	美 術 III	2			
	工 芸 I	2			
	工 芸 II	2			
	工 芸 III	2			
	書 道 I	2	2		
	書 道 II	2		0~2	
	書 道 III	2			
	○ 声 楽 実 技	2			0~2
	○ 色 彩 に 親 し む	2			0~2
○ 創 作 の 書	2			0~2	
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3		
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	
	英語コミュニケーションⅢ	4			4
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2	2		
	論 理 ・ 表 現 Ⅱ	2		2	
	論 理 ・ 表 現 Ⅲ	2			0~2
	○ 英 語 会 話	2			0~2
	○ 発 展 英 語	2			0~2
○ 英 語 に 親 し む	3			0~3	
○ 実 践 英 語	2			0~2	
家 庭	家 庭 基 礎	2		2	
	家 庭 総 合	4			
情 報	情 報 Ⅰ	2	2		
	情 報 Ⅱ	2			
理 数	理 数 探 究 基 礎	1			
	理 数 探 究	2~5			
家 庭	服 飾 手 芸	2~4			0~2
	フ ード デ ザ イン	2~8			0~2
	○ ラ イ フ デ ザ イン	2			0~2
	○ 染 物 と 織 物	3			0~3
情 報	課 題 研 究	2~4			0~3
	情 報 の 表 現 と 管 理	2~4		0~2	
	情 報 テ ク ノ ロ ジ ー	2~4		0~2	
	情 報 シ ス テ ム の プ ロ グ ラ ミ ン グ	2~6			0~2
○ 情 報 応 用	2			0~2	
各学科に共通する各教科・科目の計			0~29	25~29	13~29
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	0~4	0~16
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0
総合的な探究の時間 (A I T)			3~6	1	1
合 計			30	30	30
特 別 活 動	ホームルーム活動		1	1	1
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領において履修順序が示されている科目は、そのとおり履修すること。 ・2年次では、理科から「物理基礎」「地学基礎」のどちらかを必ず履修すること。 ・2年次で「物理基礎」、「数学B」を履修した場合、3年次に継続して履修することはできない。 ・「物理」は「物理基礎」を履修した者が履修すること。 ・「数学に親しむ」、「トレーニング基礎」、「英語会話」は2年次、3年次のどちらかで選択可能である。 ・「数学に親しむ」、「トレーニング基礎」、「英語会話」は異年次混合授業を実施する。 ・3年次の「トレーニング基礎」と「トレーニング」を両方履修することはできない。 				

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。